

令和3年度（2021年度）

# 事業計画書

令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月31日

公益財団法人庭野平和財団

## [事業活動]

(公益目的事業1)

### I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織及び市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

#### 1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織及び市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。

##### (1) 社会調査

これまで実施した調査結果を踏まえた研究会を実施し、併せて次回の社会調査実施にあたってのテーマ設定等の準備を行う。

##### (2) 情報・資料収集

- A. 東アジア平和フォーラムや9条世界宗教者会議等、宗教組織と市民組織が携わる平和に向けた活動の情報を収集する。
- B. 助成事業において採択された国内外の団体の事業の進捗や成果等の情報を収集する。
- C. その他の関連する事業の情報・資料収集

#### 2. 普及啓発事業

公益目的事業（社会調査・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業）の成果を、宗教組織及び市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織及び市民組織の人材の育成、専門知識の取得及び組織の活動の充実を目指す。

##### (1) 第38回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会を行う。

※「公益目的事業2」庭野平和賞の項目を参照

##### (2) シンポジウム「宗教とコロナ禍-宗教が果たすべき役割」(仮)の開催

- a. 日 時：令和3年11月
- b. 会 場：中野サンプラザ（東京都中野区）※状況に応じてオンラインで開催
- c. 概 要：新型コロナ等の感染症が恒常的に社会に存在し、“エンデミック”化するといわれる社会状況の中、昨年度実施した「新型感染症が与える影響と市民社会 連続セミナー」や緊急助成の成果を踏まえ、仮のテーマを「宗教とコロナ禍-宗教が果たすべき役割」とし、新型コロナなどの感染症拡大で変容する社会の中で、宗教或いは宗教組織が果たすべき役割について、宗教組織や市民組織関係者、学術経験者、地域づくりの現場の関係者等の参加によるシンポジウムを開催する。

- (3) 現代社会を考えるセミナー、シンポジウムの開催
  - a. 日 時：7月、9月、11月、1月
  - b. 会 場：未定 ※状況に応じてオンラインで開催
  - c. 概 要：現代社会が直面している時々の諸問題について、社会調査事業・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業の成果を活用してセミナー、シンポジウムを開催する。
- (4) 宗教と平和に関連するテーマに基づくシンポジウム、学習会、ワークショップ等を企画し、開催する。
- (5) BNN（仏教NGO ネットワーク）の企画委員会に参加してその活動の促進に協力するとともに、年1回程度発行されるBNNのニューズレターの編集等に協力する。
- (6) ウェブサイトを利用した情報公開  
公益目的事業1、公益目的事業2及び公益目的事業3の内容等の公開につとめる。

（公益目的事業2）

## II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞として、庭野平和賞の贈呈と庭野平和賞奨励賞の贈呈を行う。また、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

### 1. 庭野平和賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究をとおして、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人又は団体の表彰

#### (1) 第38回贈呈式・記念講演

- a. 日 時：令和3年6月2日 午後2時～3時30分
- b. 会 場：オンラインで開催
- c. 概 要：第38回庭野平和賞贈呈、受賞者による記念講演等。  
第38回庭野平和賞受賞者、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ関係者など150名程度の参加を予定。

#### (2) 第38回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会

- a. 日 時：令和3年6月4日 午後2時～3時30分
- b. 会 場：オンラインで開催
- c. 概 要：第38回庭野平和賞受賞者と京都宗教記者クラブ所属の記者との懇談会。  
受賞者による発題と記者との質疑応答。第38回庭野平和賞受賞者、京都宗教記者クラブ所属の記者など20名程度の参加を予定。

#### (3) 庭野平和賞委員会

第39回庭野平和賞受賞者の選定並びに第40回候補者の受付及び審査等を行う。

<日程>

令和3年3月 第39回 第2次選考（～4月）

令和3年10月（予定）東京で開催（状況に応じてオンラインで開催）

庭野平和賞執行委員会及び指名委員会の開催

庭野平和賞委員会の開催 第39回受賞者選定

その後、調査及び内示の実施

令和3年10月 第40回 一般推薦の推薦依頼書送付

令和3年11月 第40回 一般推薦の締切

第40回 庭野平和賞委員会委員への推薦依頼・受付

令和3年12月 第40回 第1次選考（～令和4年1月）

令和4年2月 第39回 受賞者公式発表（京都、バチカン）

令和4年3月 第40回 第2次選考（～4月）

※国内外の新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、適切な形で実施する。

2. 庭野平和賞奨励賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究をとおして、地域に根差しつつ、人びとの生活にとって身近で具体的な課題に取り組み、人びとの幸福と平和な社会を構築するための先駆的で萌芽的、実験的な活動に功績をあげた個人又は団体の表彰

(1) 贈呈式

本年度は、本事業実施初年度にあたり受賞者が決定されていないので、贈呈式を実施しない。

(2) 庭野平和賞奨励賞委員会

第1回庭野平和賞奨励賞受賞者を選定する。

<日程>

令和3年5月 推薦依頼と受付（～7月）

令和3年8月 第1次選考（～10月）

令和3年11月 第2次選考

令和3年12月 庭野平和賞奨励賞委員会開催 第1回受賞者選定

令和4年2月 受賞者公式発表（京都、バチカン）

※国内外の新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、適切な形で実施する。

（公益目的事業3）

III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 助成総額 10,000,000円

(2) 実施時期

募集期間	令和3年9月15日～10月15日
選考委員会	令和4年1月
助成期間	令和4年4月から1年間あるいは複数年間

(3) 助成先の決定

公募助成小委員会（選考委員会）が審査し選定した助成先を、理事長の決裁で決定する。

2. 非公募による助成（NPFプログラム）

(1) 助成総額 25,000,000円

(2) 年度計画当初の助成

- A. 北東アジアの平和構築に寄与する「大学生交流」の基盤づくり（4年目）
  - a. 団体名：KOREA こどもキャンペーン
  - b. 助成額：300,000円
- B. Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト（3年計画の2年目）
  - a. 団体名：認定NPO法人 まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金
  - b. 助成額：2,100,000円
- C. 子ども被災者支援基金 保養団体支援事業（新3か年計画の3年目）
  - a. 団体名：一般社団法人 子ども被災者支援基金
  - b. 助成額：600,000円
- D. 第12回東アジア市民社会フォーラム
  - a. 団体名：公益財団法人 公益法人協会
  - b. 助成額：460,000円
- E. 平和にユナイト！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連携
  - a. 団体名：一般社団法人 平和村ユナイテッド
  - b. 助成額：2,000,000円
- F. 医療相談会事業及びコロナ対策事務局運営の整備
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 北関東医療相談会
  - b. 助成額：3,000,000円
- G. 次世代ジャーナリズムを支援する第2回「ジャーナリズムXアワード」の企画実施と運営～2年目のステップアップ～
  - a. 団体名：ジャーナリズム支援市民基金
  - b. 助成額：1,159,000円

(3) 年度内の採択（臨時助成）

年度計画当初の助成における助成先が決定された後に申請された、活動が1年未満で終了する短期的な案件について、NPFプログラム助成小委員会で審査し、理事長による決裁で助成先を決定する。

3. 指定寄付による助成

他団体からテーマ、対象分野、対象地域、年限等の指定と財源が提供され、当財団でそれらを基にプログラムを企画立案して行う助成。

本年度はこの助成に該当する他団体からの財源等の提供がないため実施しない。

4. 助成委員会の開催

助成事業全体の方針、各助成小委員会の運営他、助成事業に関する重要事項を検討する。

## [法人運営]

1. 総務

法務に関する業務、理事会や評議員会、諸会議の運営に関する業務他の事務を遂行する。

2. 財務

資産の運用・管理、経理処理他の会計業務を遂行する。